

1 市の概要

| | |
|-----|------------|
| 人口 | 1,058,517人 |
| 保護率 | 1.65% |

2 支援状況調査（H30年度）

| | |
|------------------------------|------|
| 新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり | 28.5 |
| プラン作成件数人口10万人当 (件) 一月当たり | 14.8 |
| 就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり | 4.5 |
| 就労・増収率(%) | 43.5 |

4 事業実績（H30年度）

| 認定就労訓練事業所数 | 就労訓練利用者 |
|------------|----------|
| 13ヶ所 | 3人※（6ヶ月） |

※訓練終了後、同事業所での一般就労に至った

5 事業実施のポイント

求人・職業体験実習先と認定就労訓練事業所の一体的開拓

- 無料職業紹介事業所としての求人開拓にあわせて、職業体験実習、就労訓練事業について事業所の担当者に説明することで、求人・職業体験実習先・認定就労訓練事業所を一体的に開拓する。
- 無料職業紹介事業所への求人登録後に職業体験実習の協力事業所となってもらい、対象者の特性を丁寧に説明し、理解いただき、受け入れていただくよう努めている。
- 事業者は、就労訓練事業実習生の受け入れについて、最初は具体的なイメージを持ちにくいいため、まずは職業体験実習の協力事業所に登録し、その後、就労訓練事業所としての認定を検討してもらうこともある。

事業所と対象者と両方の視点を持った事業開拓支援員

- 事業開拓を担当する支援員は、企業の営業や人事部門の経験者、ハローワークの窓口や震災の見守り支援の経験者であるため、事業所と対象者の両方の視点を併せ持っている。

6 取り組んで良かったこと

- 認定就労訓練事業所や協力事業所との間で、人を育てるノウハウを共有し、高め合う関係づくりができています。
- 認定就労訓練事業所の中には、自立相談支援機関との協働を企業の社会的責任(CSR)の取り組みとしてホームページ等で取り上げているところもある。

3 実施方法について

| | |
|--------|--|
| 実施方法 | 委託（自立相談及び就労準備も同一法人に委託） |
| 事業費 | 5,100千円（平成30年度） |
| 理由（委託） | ・無料職業紹介所としての求人開拓や自立相談における職業体験実習先の開拓を通して、民間団体がノウハウを蓄積していた。 |
| 課題・対応 | ・事業所において認定を受けるためのインセンティブが制度上ほぼない中で、申請数が少なかった。 →求人や職業体験実習先の開拓とあわせ、事業の説明を含めた就労訓練受け入れ企業等の開拓と、企業等が対象者を受け入れるにあたってのフォローを行うこととした。平成28年度より実施。 |
| 事業概要 | ・支援員を2名配置し、1名は主に企業開拓を担当、もう1名は認定就労訓練事業所と利用者とのマッチングを担当する。 ・開拓業務と同時に、各事業所と就労支援担当が連携して訓練プログラムの開発も行っている。 ・認定申請のための書類作成支援等も行っている。 |